

会 議 録

会 議 名	令和元年度山陽小野田市防災会議
日 時	平成31年5月17日 13時30分から14時00分まで
場 所	山陽小野田市役所 3階 大会議室
出 席 者	山陽小野田市防災会議会長 藤田剛二 山陽小野田市防災会議委員 32名 薄墨徳光委員代理、三浦俊憲委員、吉川修委員、木元睦夫委員、磯村昭二委員、今村政裕委員、金子省一委員代理、田中英昭委員、恵上博文委員代理、末永徹哉委員代理、古川博三委員、芳司修重委員、清水保委員、城戸信之委員、森一哉委員、兼本裕子委員、河口修司委員、堤泰秀委員、今本史郎委員、矢賀健委員、長谷川裕委員、石部隆委員代理、阿部勝委員、山下剛史委員代理、真辺浩治委員、前田耕作委員、中津留賢治委員、中村剛委員代理、林龍介委員、前村寛之委員、岡本志俊委員、荒川栄子委員、森田純一委員代理
委員欠席者	3名
事 務 局	総務部総務課 田尾忠久課長、熊野貴史課長補佐、青木宏薫危機管理室長、松岡祥吾主事
会 議 次 第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 審議事項 山陽小野田市地域防災計画の修正について (2) その他 報告事項 4 閉会

要旨

1 開会 事務局：	<p>この防災会議は、災害対策基本法第16条の規定に基づいて制定された山陽小野田市防災会議条例により、地域防災計画の作成、修正及び計画実施の推進等を所掌事務としている。</p> <p>今回は、山陽小野市地域防災計画の修正について御審議いただくため本会議を開催する。</p>
2 会長挨拶 会長：	<p>昨年は、平成30年7月豪雨、大阪北部地震、北海道胆振東部地震など、全国的に大規模な災害が多く発生した。本市においても、今後発生が懸念されている南海トラフ地震や本市を縦断する菊川断層による地震、台風や集中豪雨などの災害に備え、更なる防災対策の強化を進めていくとともに、関係機関との緊密な連携・協力が不可欠であると考えている。</p>
3 議事 事務局：	<p>(1) 審議事項について、以下の内容を資料に沿って説明した。</p> <p>山陽小野田市地域防災計画の修正について</p> <p>審議1 関係法令の改正等に伴う修正 審議2 山口県地域防災計画の改訂に伴う修正 審議3 その他の修正</p>
委員：	<p><質疑応答> なし</p>
会長：	<p><議決> 異議がなければ、山陽小野田市地域防災計画の修正を原案どおり決定したい。</p>
委員：	<p>異議なし。</p>

事務局 :	<p>(2) その他について、報告事項として以下の内容を資料に沿って説明した。</p> <p>報告1 防災会議委員の変更について 小野田医師会と厚狭郡医師会が合併し、山陽小野田医師会となった。これに伴い、山陽小野田医師会の会長・西村公一様を防災会議委員とさせていただく。</p> <p>報告2 平成30年度市総合防災訓練の報告について 平成30年度の訓練については、風水害を想定した机上シミュレーション訓練を行った。</p> <p>報告3 指定避難場所の追加について 有帆川洪水に備え、有帆地区の指定避難場所を2箇所追加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別府八幡宮 ・有帆緑地 <p>報告4 避難勧告等に関するガイドラインの改定について 平成31年3月に国によるガイドラインの改定があったことで、この梅雨から、「警戒レベル」の運用が始まる。「警戒レベル4」を全員避難とし、市の発令する避難情報の広報文に付加される形で住民周知される。</p> <p>報告5 水害対応タイムラインについて タイムラインとは災害発生を前提に防災関係機関が連携して、災害時に発生する状況をあらかじめ想定、共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画のことである。5月8日に行われた“山陽小野田地域の県管理河川における大規模氾濫に関する減災対策協議会”において今年度より試行運用することが決まった。</p>
委員 :	<p><報告事項についての質疑応答> 市から発令される避難情報は、市全体で発令されるのか、地区を絞って発令されるのか。</p>
事務局 :	<p>基本的には小学校区で発令する。しかし、必要があれば、自治会単位でも発令することもある。</p>

<p>4 閉会</p>	<p><全体に対する質疑応答></p> <p>委員： 地域では、毎年1回、小学校区ごとに防災訓練を実施するなど、継続して命を守る取り組みをしている。 そこで、市が行う防災訓練ももっと市民を巻き込む必要があると感じる。</p> <p>事務局： 市セーフティネットワークとは日頃から協働してさせていただいている。今年度の市総合防災訓練についても、実働訓練を予定しており、市セーフティネットワークの協力が必要不可欠となる。今後とも協働させていただけるようお願いしたい。</p> <p>会長： 命を守ることに於いて一番大切な自助・共助は、市セーフティネットワークや民生委員、消防団など、現場での活躍があつてこそ。日頃からの取り組みに感謝を申し上げる。 防災訓練についても、毎年改善をして、より良いものにしていきたい。</p>
-------------	---